

## 壁面補修について

作品設置などにより、壁面への穴あけをされる場合は、パテ埋め及び塗装による補修をお願いしております。下記に注意事項を記載いたしますので、必ずご一読いただき順守いただきますようお願いいたします。

- **ご経験者自身**または監修により、責任を持って作業にあってください。
- パテ、塗料、紙ヤスリ、トレー、ローラーはスタジオにて支給させていただきます。養生や雑巾など、支給材の他に必要な資材は、ご自身にてご用意ください。
- 虫ピンの小さな穴も、必ずパテと塗装による補修を行なっていただきます。テープの使用により塗装が剥がれた場合も同様となります。ご注意ください。
- 穴の補修漏れ、塗装漏れ、ヤスリ不足による凹凸、上塗り不足による色ムラ、ハケ目残りなど、補修不足が見受けられた場合は、**補修対応費 30,000 円+1 箇所につき 2,000 円（税別）の修繕費及び営業補償料**を請求いたします。

### <補修の流れ>

#### ▼パテ埋め：

1. ビスやピンを抜く。
2. 支給パテによる穴埋めを行う。\*備品類は3階キッチン横の棚よりご使用ください。
3. パテが乾いたことを確認した後に、**ヤスリがけし表面をならす。**
4. 再度全体を確認し、穴が残っていないか確認する。

#### ▼塗装：

1. 床に塗料が落ちないように養生を行う。\*養生シートはご自身にてご手配ください。
2. 塗料の缶を上下左右に振りよく**攪拌（かくはん）する。**
3. 少量をトレーに出しよく混ぜる。
4. **ローラーで**補修箇所を薄く下塗りする。
5. **下塗りが乾いたことを確認し、上塗りする。\*必ず二度以上塗装**してください。
6. 上塗りが乾いた後、塗りムラがないか、塗り残しがないか確認する。必要な場合は上塗りを重ねる。

#### ▼仕上げ/確認：

1. 最終的に**穴残り**がないか、**塗り残し**がないか、再度確認する。
2. 養生を取り外す。床に汚れがある場合は**拭き取る。**
3. 残った塗料はペーパーや雑巾などで拭き取りゴミとしてまとめる。\*ゴミはお持ち帰りください。
4. トレーとローラーを洗う。
5. パテ、塗料、トレー、ローラーを、3階キッチン横の備品置き場に戻す。

\*次ページの修繕不足例をご参照の上、補修残りのないよう作業にあってください。

## 補修不足の事例



↑ パテの後塗装をしていない、または一度塗りだけでパテの色ムラが残っている。



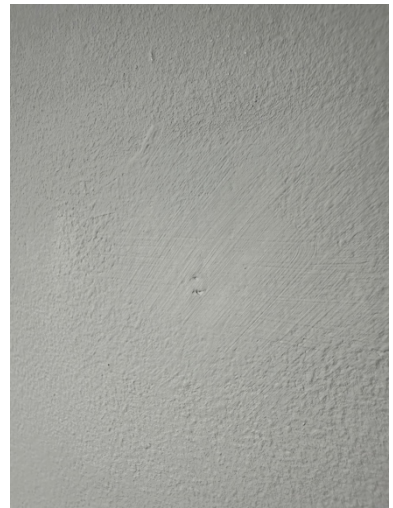
↑ 穴の凹凸を十分にパテ埋めできていない。塗装不足によりパテの色ムラが残っている。



↑ パテ不足、ハケ目残り、塗装不足



↑ ヤスリ不足による凹凸残り、ハケ目残り、塗装不足



↑ パテ不足による穴残り、ハケ目残り